

被災地フォーラム新潟

主催 科学研究費基盤研究（S）「災害文化形成を担う地域歴史資料学の確立—東日本大震災を踏まえて」
新潟大学災害・復興科学研究所 地震・火山噴火予知研究協議会史料・考古部会「日本海沿岸地域を中心
とした地震・火山噴火災害関連史料の収集と分析」研究グループ
共催 新潟大学人文学部地域文化連携センター、新潟歴史資料救済ネットワーク、新潟史学会

日時 2017 年 12 月 2 日（土）13 時～17 時 50 分

会場 新潟大学総合教育研究棟 D 棟 1F 大会議室

開会挨拶

奥村 弘 神戸大学

報告

筑波匡介 中越防災安全推進機構

震災メモリアルと中越防災安全推進機構—中越大震災、中越沖地震の経験から—

下玉利紀子 長岡市立中央図書館文書資料室

樋口玲子 長岡市資料整理ボランティア

長岡市災害復興文庫における市民ボランティアの役割
—長岡市資料整理ボランティア 12 年目の取り組みと課題—

内山大介 福島県立博物館

福島県における震災・原発被災と博物館活動—文化財の救出から「震災遺産」の保全へ—

松本博明 岩手県立大学盛岡短期大学部

津波被災石碑の救出と石碑保存の意義—岩手県山田町の事例から

飯島康夫 新潟大学人文学部

被災民俗資料の保全と活用—山古志での実践を中心に—

中村 元 新潟大学人文学部

災害史研究と歴史学・資料保全—新潟県における地震災害の事例に即して—

パネル・ディスカッション

司会 矢田俊文（新潟大学人文学部、新潟大学災害・復興科学研究所兼任）、パネラー 奥村弘、報告者

どなたでも参加いただけます。（申込不要）

問い合わせ先 矢田俊文（新潟大学人文学部、新潟大学災害・復興科学研究所兼任）

〒950-2181 新潟市西区五十嵐 2-8050 新潟大学人文学部

TEL：025-262-6542 MAIL：yata@human.niigata-u.ac.jp